



# メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会




No.286 2019.9.19

**県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」  
9月15日(日曜日)放送「常任委員会だより2」**


県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様様や主要会派代表者のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、9月15日(日曜日)に放送した「常任委員会だより2」の内容をお伝えします。


[☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)




**INDEX**

 **県議会広報**  
こんにちは県議会です  
「常任委員会だより2」

- 産業労働企業委員会 内沼博史委員長
- 県土都市整備委員会 永瀬秀樹委員長
- 文教委員会 松澤 正委員長
- 警察危機管理防災委員会 岡田静佳委員長

 **議事堂の花**  
生け花のご紹介

 **県議会広報**

**【こんにちは県議会です「常任委員会だより2」】**

〈産業労働企業委員会〉

産業労働企業委員会は、産業労働部、企業局、労働委員会に関する事柄を所管し、労働条件の向上、雇用対策の推進、商工業の振興、中小企業金融対策、観光資源の利用促進、水道事業などについて審査を行う委員会です。

**委員長** 委員長の内沼博史です。先端産業への支援や雇用対策、魅力ある観光の振興など、埼玉を元気にする施策の推進に全力で取り組んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。



—先端産業への支援について、委員長のお考えをお聞かせください。—

**委員長** ロボットやAIなどの先端技術を支援することは、持続的な経済成長を実現するために不可欠だと考えております。少子高齢化が進む中、さまざまな分野で人手不足が深刻になっておりますが、例えば、バスなどの公共交通に自動運転技術を活用できれば、人手不足の解消と高齢者などの地域住民の足の確保という、両方の課題の解決につながることを期待されています。

—雇用対策にも力を入れていきたいとのことですが。—

**委員長** 女性や元気な高齢者の活躍が今後ますます重要になります。年齢や性別に関係なく、意欲や能力に応じて働くことができる環境をつくらなければなりません。企業内保育所の整備促進やシニアの働く場の確保など、誰でも安心して働くことができる職場づくりに、県としてしっかりと取り組んでまいります。

—観光振興についてはいかがですか。—

**委員長** 私の地元、飯能市において昨年11月にメッツァヴィレッジ、今年3月にムーミンバレーパークが開業いたしました。全面オープンした「メッツァ」をはじめ、川越や秩父など、本県には素晴らしい観光資源がたくさんあります。これらの魅力を最大限に生かし、県が中心となって広域的な連携を図り、日帰り型観光を宿泊型へ変えることが重要です。観光客の滞在時間を増やすことで、地域経済がより潤うだけでなく、観光とタイアップして商店街を活性化させることができると考えております。

—例えばどのようなアイデアがありますか。—

**委員長** シェアサイクルの普及を促進し、自転車による観光地の周遊を広げていきたいと思っております。車はスピードが速くて渋滞もあります。ゆっくりとした生活者目線の自転車だからこそ新鮮な風景や街角の魅力を発見できますし、商店街の気になるお店へ気軽に寄り道をすることもできます。地域ならではの買い物や飲食も楽しんでいただきたいと思います。

[▲トップへ](#)

### 〈県土都市整備委員会〉

県土都市整備委員会は、県土整備部、都市整備部、下水道局、収用委員会に関する事柄を所管し、道路事業・河川事業の推進、公園・下水道の整備や管理などについて審査を行います。

**委員長** 委員長の永瀬秀樹です。道路や河川、公園、下水道の整備など、生活を支える基盤づくりや県の魅力を高めるまちづくりを担う委員会として、委員一同全力で取り組んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。



—委員長としてどのような分野に力を入れて取り組まれているのでしょうか。—

**委員長** まずは、安全・安心な暮らしを支える道路環境の整備です。災害に強い道路づくりを進めていかなければならないと考えています。近年、景観の悪化だけでなく災害時に危険であるという問題から、無電柱化の推進が重視されています。県では今年3月に「無電柱化推進計画」を策定しました。この計画に基づき、災害に強い基幹道路の整備を進めてまいります。また、街路樹の整備も重要です。街路樹は景観の向上だけでなく、暑さ対策や延焼防止などにも効果を発揮します。街路樹の持つ機能を効果的に発揮できるように整備を進め、安全で快適な道路空間の形成を目指してまいります。

—治水対策についてはいかがですか。—

**委員長** 近年、台風や記録的な豪雨による浸水などの被害が相次いでいます。こうした被害を防止するため、河川整備や流域対策を計画的に進めるなど、総合的な治水対策にしっかりと取り組んでまいります。また、重要なライフラインである下水道施設が地震や洪水など大規模災害の際にもその機能を果たせるよう、災害対策を進めてまいります。

—ほかには何かありますか。—

**委員長** 本県は、県土に占める河川面積の割合が日本一の「川の国」です。県では水辺空間の整備や地域の活性化などを図る「川の国埼玉はつらつプロジェクト」を市町村と連携して進め、県民の皆さまが「川の国埼玉」に親しみを持てるよう、引き続き取り組んでまいります。また、安全かつ快適で潤いのある暮らしを実現するまちづくりの観点から、密集市街地の解消や市街地再開発を計画的に実施し、住環境の整備を進めてまいります。

—今後の活動についてお考えをお聞かせください。—

**委員長** これからも健全な県土の形成と県民の皆さまの快適な暮らしに向けて、全力で取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

### 〈文教委員会〉

文教委員会は、教育委員会に関する事柄を所管し、義務教育、高等学校教育や特別支援教育の充実、生涯学習の推進、文化の振興などについて審査を行います。

**委員長** 委員長の松澤正です。明日を担う子どもたちの教育の推進に力を入れて取り組んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。



—教育についてのお考えをお聞かせください。—

**委員長** 教育の原点は家庭教育にあると思っています。基本的な生活習慣やコミュニケーションなど、生きる力を育む上で重要な役割を果たします。一方、子どもは家庭の中だけでなく、学校や地域のさまざまな人たちと関わり、見守られながら成長します。家庭、学校、地域が一体となって社会全体で子どもたちを育むことが大切であると思います。

—子どもを見守る体制づくりは大切ですね。—

**委員長** こうした取り組みが進めば、昨今進められている学校における働き方改革にもつながっていきます。子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、教員に求められる役割が増え続ける中、子どもたち一人ひとりの個性を伸ばす教育が行えるような環境づくりが必要です。例えば部活動の指導において、専門的な知識や技能を持った指導員を活用するなど、地域社会が受け皿となるような取り組みを進めてまいります。

—いじめ問題への対応についてはいかがでしょうか。—

**委員長** 残念なことはいじめの認知件数は増加しており、インターネットを使った「ネットいじめ」など内容も複雑化しています。学校がいじめを早期に発見し、対応できる体制づくりを進めていかなければなりません。県ではスクールカウンセラーの配置など相談体制の充実に取り組んでいますが、これに加えて大学などと連携して、より専門的な視点から子どもたちを守る仕組みを構築できないか検討していくべきだと考えます。

—障害者雇用の推進についてはいかがですか。—

**委員長** 教育現場において障害者雇用を進めることは、誰もが人々の多様な在り方を相互に認め合える社会を実現するという大きな意義があると考えます。障害のある方が生き生きと働いている姿を見せることは、障害のある子どもたちの励みにもなると思います。施設整備などのハード面、そして周囲の理解の促進といったソフト面の両面をしっかりと進め、障害のある方の活躍の場の拡大と働きやすい職場づくりに取り組んでまいります。

### 〈警察危機管理防災委員会〉

警察危機管理防災委員会は、公安委員会、危機管理防災部に関する事柄を所管し、警察行政の総合的企画・調整、消防や防災、危機管理の強化などについて審査を行います。

**委員長** 委員長の岡田静佳です。県民の皆さまの暮らしや命を守るため、委員一同全力で取り組んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。



—警察分野について、どのような点に力を入れて取り組まれているのでしょうか。—

**委員長** 現在最も大きな社会問題の一つである、高齢者ドライバーによる交通事故への対策です。認知機能検査の会場を増やすなど、安全運転に向けた講習の充実に加えて、アクセルとブレーキの踏み間違いを防止する装置の購入費用を補助するなど、事故防止に向けてあらゆる手を尽くさなければならないと思います。それと同時に、高齢者が車がなくても、日常生活で移動に不自由しない環境づくりが重要であると考えています。

—県民の命を守るために、交通事故対策はとても重要ですね。—


**委員長** さらに、増え続ける児童虐待から子どもの命を守るための取り組みも非常に重要です。昨年8月に児童相談所と警察との間で虐待情報の全件共有が始まりましたが、今年度はこれを強化し、現場に近い警察署と専用のネットワークで直接つなぎ、リアルタイムで情報共有する全国初のシステムを構築します。今後も児童虐待の根絶を目指してまいります。また、いよいよラグビーワールドカップの県内での初戦が9月24日に熊谷ラグビー場で開催されます。警察は万全の体制で警備に当たりますので、県民の皆さまには安心して世界最高峰の大会を楽しんでいただきたいと考えています。

—防災の分野についてはいかがでしょうか。—

**委員長** 近年は自然災害が激甚化しており、県内でも被害が多発しています。ゲリラ豪雨や台風の上陸などによる風水害への備えが重要です。災害から県民の命を守るため、危機管理体制の強化に努めてまいります。

—具体的にはどのような取り組みでしょうか。—

**委員長** 地域の防災力強化のためには県民自ら取り組む「自助」と地域で共に助け合う「共助」の取り組みが不可欠です。県では、災害への備えを普段の生活の中で取り組む「イツモ防災」の普及に努めています。「自分の命は自分で守る」という意識の醸成と、地域防災の要である消防団の支援にしっかりと取り組んでまいります。

 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

## 【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：  
9月2日～9月6日  
作者：  
遠州流むさし野派 杉野一信様  
花材：  
ドウダンツツジ、パンパス、アジサイ、トルコキキョウ、オクラレルカ

## ◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈遠州流むさし野派 杉野一信様〉

Q: 作品で表現されたテーマを教えてください。

A: 夏の花アジサイを前面に、その後ろに青々とした葉が揺れて涼しげなドウダンツツジ、秋の訪れを感じさせるパンパスと生け、晩夏から初秋への季節の流れを表現しました。9月の初旬、夏から秋への季節の変わり目を意識した作品です。

Q: 緑色とピンク色のアジサイがきれいですね。

A: 根元にピンク色のアジサイがあることで作品が締まりますし、華やかになります。また、トルコキキョウのピンク色とのグラデーションも見ただけだと思います。緑色のアジサイも淡く落ち着いた色ではありますが、葉の深緑とのコントラストで花が引き立ちます。

[☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会のホームページでご覧になれます。》](#)

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail [a6250-03@pref.saitama.lg.jp](mailto:a6250-03@pref.saitama.lg.jp)

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257／FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

